



奈良女子大学文学部公開講座

奈良と〈近代〉

主催 奈良女子大学文学部、共催 佐保会、奈良女子大学社会連携センター

社会と文化が転換した明治大正期、古都奈良の地では——森鷗外の文学
と奈良女子高等師範学校の蔵書から見る、近代国家の黎明——

鷗外の「夢の国」——森鷗外「奈良五十首」をめぐって——

吉川仁子 奈良女子大学専任講師 山口県生まれ。専門は日本近代文学。夏目漱石の作品研究、志賀直哉に師事した奈良ゆかりの女性作家池田小菊についての研究を進めている。

本をならべる——奈良女高師と大礼記念文庫のことなど

磯部 敦 奈良女子大学准教授 新潟県生まれ。専門は近代書籍文化史。著書に『出版文化の明治前期——東京稗史出版社とその周辺——』（ペリかん社）ほか。明治大正期の出版流通史、読書史、および奈良女高師の蔵書について研究している。

2013年12月14日（土）14時～17時

奈良女子大学S棟235 近鉄奈良駅より徒歩5分

入場無料 定員100名 申込先着順 本学HPにも案内掲載

問合せ: 文学部係 0742-20-3699 または bun@jimu.nara-wu.ac.jp